

低炭素社会の考え方について

東京電力株式会社
顧問 梶本晃章



東京電力

1 . はじめに

「低炭素社会」

供給エネルギーの低炭素化

エネルギー消費側での

エネルギー転換効率向上追求

2 . ビジョンと実現手法の整理が必要

どのような低炭素社会をめざすのか（ビジョン）

- 長期的にめざす社会

人間が伸びやかに活動でき、
自然と共生できる社会

エネルギーの低炭素・高効率利用
～ 自然の力を多様に活用

- 自然光を光ファイバーで屋内に導入し照明として活用、
- 太陽熱集熱パネルやヒートポンプで
自然の熱を冷暖房、給湯に活用 など

地域特性を活かした多様な都市設計

(マトリックスのイメージ)

将来ビジョン

- 人間が伸びやかに活動でき、自然と共生できる空間を提供
- 自然の力を多様に活用 = 科学技術も活用
- 大都市、中小都市、工業都市 など多様な都市

実現手法

	都市インフラ					個別建物	
	運輸・交通	水処理	廃棄物処理	エネルギー	緑地・公園等	事業用建物	住宅
	人の移動 物資の輸送	上下水道 雨水利用	3 R	低炭素 高効率			
事業主体							
技術							
自然力活用							
制度							
規制							
インセンティブ							
...							

個々の要素を
マトリックス上に
整理